

# いろは親水公園左岸

NPO法人エコシテイ志木事務局長

青木 明雄



左岸ゾーンふれあい広場の桜を楽しむ人々

いろは親水公園の左岸部分には、「左岸ゾーン」と「さくらのこみち」、「三日月湖ゾーン」があります。

## 三代の堤防

左岸ゾーンは、昭和に作られた堤防と平成になって作られた堤防に囲まれています。新河岸川の流れに面している昭和の堤防は、桜並木になっています。平成になって、より高い堤防ができた後も、そのまま残っています。更に、平成の堤防の脇の堤内に、江戸時代に作られた堤防が残っています。ここには、江戸時代、昭和時代、平成時代の三代の堤防が並んでいます。

江戸時代の堤防は、新河岸川除堤（しんがしがわよげづつみ）と呼ばれており、佃堤（つくだづつみ）等と共に、旧宗岡村を囲む総囲堤の一部となっています。



三代の堤防

## さくらのこみち

この江戸時代の堤防と平成の堤防の間が、サクラが植えられている「さくらのこみち」です。

鳥たちが、花の蜜を吸いに、暑い時の涼しい木陰として、木々の間を飛び回っています。幅の狭いこみちですが、子供たちの遊具やベンチもおかれています。昭和の堤防と平成の堤防の分岐点辺りから約 250 m 程続いています。分岐点近くには、公園の駐車場があります。また、富士下橋手前にはあずま屋があり、散策する人たちの休憩場所となっています。いろは橋から赤い富士下橋（赤橋とも呼ばれています）までは、直線で 360 m 程あります。富士下橋までが、市民の憩いの広場になっていて、春のお花見や、イベント会場として利用されています。

3月26日（日）には、志木コミュニティまつりの会場として使われ、当会としても、自然観察会を予定しています。

## ヨシ・オギ群落保全地

富士下橋から下流域は、ヨシ・オギ群落保全地区となっています。当会では、オオブタクサを中心とした外来植物の抜き取り作業等を中心とした環境保全を行っているところです。

調査・保全を進める中で、ここにはカヤネズミが生息していることがわかりました。



ヨシ・オギの穂



三日月湖ゾーン



カヤネズミ原っぱ

毎年、7～10個程度のカヤネズミの巣を見つけることができました。カヤネズミは、日本で一番小さいネズミで親指ほどの大きさです。夜行性の為、残念ながら姿を見たことがありません。何とか今年は、写真を撮りたいと思います。

巣は10cmほどの丸い鳥の巣のような形をしています。カヤネズミは、ヨシやオギの葉を細く裂いて、器用に丸い形に作り上げ、小さな出入口もあります。

当会では、この保全地区に親しみを込めて、カヤネズミ原っぱ（略してカヤッ原）と名前を付けて読んでいます。2014年からは、この原っぱを子供たちに親しんでもらうおうと「カヤネズミの巣を探せ」というイベントを、毎年開催しています。勿論今年も開催します。

エコシティ志木では、2014年2月に香川市長と、志木市ふれあいミーティング「市長と話そう！ まち・夢・未来」を行い、ここの貴重な自然について説明をし、保全の理解をしていただきました。これからも、この自然を守り続け、親しんでいきたいと思っています。

カヤッ原は、冬には、全て刈り込んでしまわれますが、翌年も新しく伸びたカヤに巣ができています。どこに行っているんだろうか？ 昨年の台風

で、「いろは親水公園左岸ゾーン」は土手のところまで浸水してしまいました。カヤネズミは大丈夫だろうか？ ととても心配しています。また、青々とした巣がみられることを期待しています。

オギやヨシは、夏には3m以上の背丈まで育ちますが、オオブタクサは、それ以上に大きくなり、ヨシやオギの生育を阻み、蔓延ってしまいます。景観が悪いばかりでなく、黄色い花粉が煙のように風に舞い、花粉症の原因にもなります。今年も抜き取り作業を行いますので、ぜひ、皆様のご協力をお願いします。

このカヤッ原には、カヤネズミばかりでなく、オオヨシキリがやってきます。初夏には、ヨシやオギの伸びた先にとまり、大きな声で縄張りを主張します。堤防の上からも、かわいい姿を見ることが出来ます。チョウやトンボも沢山飛び交い、ツバメもこの原っぱの上を行ったり来たり。バツタも沢山飛び跳ねています。初夏には、赤紫色の穂が茎先から延び、陽の当たり方によっては、黄金色にも見える穂が、カヤッ原いっぱいになびく光景が、とても美しい自然の姿となっています。いつまでも大切にしたいですね。

富士下橋から320m程下流では、昭和の堤防と平成の堤防が遊歩道で繋がっています。この囲まれたところが、カヤッ原です。

### 三日月湖ゾーン

最後にご紹介する「三日月湖ゾーン」は、富士下橋下流の江戸時代の堤防と平成の堤防に挟まれた部分です。新河岸川が大きく蛇行していたところが、真つすぐな流れに改修されたために、三日月の様に、残ってしまった部分です。ここは、まだ田んぼとして利用されています。